

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 21年 2月 17日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 事業所番号 | 0773300199 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 南相馬福祉会 | | |
| 事業所名 | グループホームたんぽぽ | | |
| 所在地 | 〒979-2334 福島県南相馬市鹿島区西町三丁目3番地 (電話) 0244-67-1554 | | |
| 評価機関名 | NPO法人福島県シルバーサービス振興会 | | |
| 所在地 | 〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなゆうビル302号室 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年1月27日 | 評価確定日 | 平成21年2月23日 |

【情報提供票より】(平成20年12月4日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|--------|---------------------|
| 開設年月日 | 平成14年12月4日 | | |
| ユニット数 | 1ユニット | 利用定員数計 | 9人 |
| 職員数 | 8人 | 常勤 | 8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|----------------|--|--|
| 建物構造 | RC平屋造り | | |
| | 1階建ての 1 ~ 1階部分 | | |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|-----------------|-----------|------------|--------|
| 家賃(平均月額) | 30,000円 | その他の経費(月額) | 3,000円 |
| 敷金 | 有() 無() | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有() 無() | 有りの場合償却の有無 | 有 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | | 800円 |

(4) 利用者の概要

| | | | | | |
|-------|----------|------|-----|----|------|
| 利用者人数 | 8名 | 男性 | 0名 | 女性 | 8名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 2名 | | |
| 要介護3 | 4名 | 要介護4 | 1名 | | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 89.4歳 | 最低 | 84歳 | 最高 | 101歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------|
| 協力医療機関名 | 鹿島厚生病院、西町歯科医院 |
|---------|---------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町の福祉ゾーンの一部にある事業所は、同じ敷地内に介護老人福祉施設(同法人運営)と地区の福祉センターが隣接している。また、まわりには他法人が運営するデイサービスセンター、福祉サービスセンター、さらに保育園がある。すぐ近くに住宅街もあり地域の人達に非常災害協力の委嘱もしており、一緒に避難訓練等も実施している。また、花見、初詣、釣り大会、イルミネーションの見学等地域へ出かける機会が多く、老人クラブ等の訪問による新しい行事の開催等もあり、地域と相互交流がされている。この事業所は法人のバックアップにより、業務手順書が作成され、その中で研修計画に基づく法人内の研修の機会が確保が十分され、運営に対する改善点があった場合にも直ぐに対処しており、とても評価できる。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価結果で取り組みが必要だとされた「地域密着型サービスとしての理念」と「重度化や終末期に向けた方針の共有」の項目は、いずれも職員間等で検討しながら速やかに改善している。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義を十分に理解し、自己評価は自分を振り返る良い機会だと捉え、今回の自己評価は、職員全員で取り組んだ。記入したものを基に管理者がまとめ、改善課題等を把握し検討することで質の向上に努めている。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)</p> <p>運営推進会議のメンバーは、市役所職員、地域包括支援センター職員、地域老人クラブ会長、民生児童委員、認知症の人と家族の会代表、利用者家族代表等で構成している。会議では「行政指導監査の結果」「外部評価結果」「災害訓練」「事業報告(前年度の事業と収支報告、今年度の事業計画と収支予算、事故と苦情報告、行事報告、職員研修の報告等)」等を伝え、委員から意見をいただき、運営に反映するように努めている。2ヶ月に1回定期的な開催となっている。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>言いづらい家族の意見も把握できるように意見箱を設置し、改善に努めている。また、毎月、一人ひとりの様子を担当者が写真を添付し、家族へ送付している。さらに、家族面会時に利用者の様子を詳しく伝え、家族の意見等聴取しやすい雰囲気作りをしている。出された意見等はすぐに運営に反映させるような体制になっている。</p> |
| 重点項目③ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域行事(お祭りや敬老会等)に積極的に参加し、地域からもボランティア等で訪問してくれるような体制になっている。運営推進会議の委員(老人クラブ)の協力により、平成20年から小正月の行事を始めたり、お月見の時には、ススキや萩を届けてもらい季節感の感じられる演出ができた。</p> |
| 重点項目④ | |

2. 評価結果 (詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 今までの理念を見直し、「思いやり・やさしさ・ありのまま・地域の皆様とともに生活する喜び」という理念にし、日々実践に励んでいる。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 全体会議、ミーティングで理念を確認し、玄関、来客者の見える場所に掲示し、職員間で共有している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地区の老人クラブによるダンス発表会を鑑賞したり、小正月のダンゴ指しなどを協力を得て作成したり、地域との交流が盛んにおこなわれている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者は評価の意義を理解し、評価結果を各会議体（9種類）を通じて報告するとともに全職員で改善し、取り組んでいる。今回の自己評価は、全職員で取り組み管理者がとりまとめた。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2ヶ月に1度、開催している。市の福祉係長、地域包括支援センター長、家族、地域住民等で構成され、推進委員からの改善意見等を具体化してサービスの質の向上に活かしている。 | | |
| 6 | 9 | | | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | 月に1度の家族への手紙には利用者の状態の変化や通院の結果等が分かるような報告を行い、面会時にはより詳しい近況報告をしている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見や苦情を把握するような仕組みを構築しており、苦情等は苦情解決委員会を通して改善し、運営に反映させる体制となっている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 開設当事からの職員もおり、利用者との馴染みの職員が対応する重要性を法人も管理者も十分認識している。異動の場合は1ヶ月の重複期間(引継ぎ)を基本として利用者へのダメージを防いでいる。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 月平均3回の外部研修参加の機会を設け、参加した記録を作成し全体会議で報告もしている。内部研修については参加した職員に感想・提案等を記入させて、次の研修に役立っている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 福島県認知症グループホーム連絡協議会の研修会に出席し、交流している。また、地域のグループホームと交流しサービスの質の向上に努めている。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護) | / | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 日頃より利用者に教えてもらうという意識を持ちながら、波縫いの得意な方と一緒に裁縫をしたり、料理の作り方や味付けを教えてもらい、一緒に行っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|---|---|----------------------|---|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 一人ひとりの意向を把握するために、日常の中でコミュニケーションを多くしている。意思疎通が困難な場合は、ご家族からの意見を聞いている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者が自分らしく過ごせるように利用者や家族から要望を聴き、介護支援専門員と居室担当職員が全体会議等で意見交換をし、介護計画を作成している。職員の意見等が反映された介護計画となっている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 計画は定期的または、利用者の状態（体調）変化がある場合に、随時見直しをしている。また、計画終了時には計画の評価をし、状況に合った新しい計画を作成している。しかし、毎日の支援経過への記録が介護計画に沿ったものとなっていない。 | ○ | 介護支援専門員が利用者に関する情報（利用者・家族の状況、ニーズ、サービス提供状況等）をまとめて、見直しの際に役立てているが、毎日の支援経過へ介護計画に沿った記録をしていくことで、見直しの根拠が明確になると思われる。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている（小規模多機能居宅介護） | / | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者や家族の希望に沿い、かかりつけ医や協力医療機関による適切な受診に向け、職員や家族の通院介助により支援している。職員が通院介助し利用者の変化があった場合は、かかりつけ医の受診結果を直ぐに家族に報告している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 事業所は利用者の重度化・終末期に向けた方針を作成し利用者や家族に説明し、意向確認書に記入してもらい対応している。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員は利用者の尊厳を守るためプライバシーに十分配慮した言葉かけや対応をすると共に秘密保持の徹底を行っている。また、利用者の個人情報利用について契約書により承諾を得ている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一日の流れはあるが、利用者のペースに合わせて、食事や睡眠等支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|---|---|----------------------|---|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理や後片づけ等、利用者個々の力を活かしながら職員と一緒にいる。また、利用者が好きな食べ物の出前等を取ることもある。併設施設の栄養士が栄養バランスを考えて献立を立てている。しかし、職員が利用者と一緒に同じものを食べてはいない。 | ○ | 今後は、職員も皆、一緒に同じものを食べることで、同じ状況を共有し利用者の状態を把握できる機会であることを理解して欲しい。さらに、利用者の好きなメニューを出来るだけ献立に取り入れ、事業所の食事が利用者の楽しみとなって欲しい。 |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の希望に沿った入浴ができるよう毎日、全員に声かけをし入浴を支援している。利用者の羞恥心や抵抗感に配慮した入浴支援をしている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護) | 洗濯物たたみ、テーブルやお盆拭き、畑仕事、料理等利用者の得意なことを把握し、一人ひとりが生き生きと生活できるよう、場面作りがされている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護) | 天気の良い日はできるだけ、散歩や買い物に出かけるようにしている。一人ひとりの希望も聴きながら対応できるよう業務プログラムの改善をした。また、事業所全体で花見、初詣、釣り大会、民俗芸能発表会・イルミネーションの見学等に出かけている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関も居室も鍵はかけられていない。職員は、見守りを重視した支援プログラムで業務を行っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 毎月、隣接する特養と合同で避難訓練等（地震、火災の際の夜間想定等）実施している。備蓄も特養と一緒に準備をし、近隣の人へ非常災害協力を委嘱している。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 法人の栄養士の指導を受けながら、栄養バランスを考えたメニューとなっている。利用者の状態に合わせて、おかゆやキザミを取り入れた支援も行っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は、利用者の作品（習字等）、金魚、鉢植え、利用者皆で作った小正月の団子指し等を飾り季節が感じられる。天窓から差し込む光で明るい共有空間となっている。トイレやお風呂の入り口は車椅子でも入れるように十分な広さとなっている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は、清潔で明るく収納スペースがとても広い。利用者の使い慣れた身の回りの物（タンス、写真等）が持ち込まれ、以前と変わらぬ環境で過ごせるように支援している。また、利用者が好きなアイドルの写真を飾り心地よく過ごしている。 | | |

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホームたんぽぽ

記入担当者名 阿部 夕子

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。